

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公表番号】特表2011-511425(P2011-511425A)

【公表日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-545861(P2010-545861)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/64 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/64 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月17日(2012.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

図 2 に示すように、コネクタ 1 0 は、プランジャー要素 2 4、回転要素 3 0 およびスプリング 3 2 等の弾性デバイスを更に有する。プランジャー要素 2 4 は プランジャーリング 2 6 を有し、プランジャーリング 2 6 は、その プランジャーリング 2 6 から延びている プランジャーアーム 2 8 を有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レセプタクルアセンブリに対する電気接続を提供するための、機械的嵌合サイクル制限を有する電気コネクタであって、

差し込み部、シェル、および内部に配置された内部ランプを有するプラグハウジング；
プラグハウジング内に配置されたコンタクト；

内部に配置された外部ランプを有する中間ピースであって、プラグハウジングに堅固に取り付けられている、中間ピース；ならびに

プランジャー要素、回転要素、および堅固に組み立てられた中間ピースおよびプラグハウジング内に配置されたスプリング；

を含み、嵌合サイクルの間の回転要素の更なる回転が禁止されて、それによって電気コネクタが操作不可能になるまで、電気コネクタをレセプタクルアセンブリに嵌め合わせるとき、およびレセプタクルアセンブリから取り外すときに、回転要素が所定の嵌合サイクル数の間、電気コネクタの内部で回転するように構成されている、電気コネクタ。

【請求項 2】

電気コネクタをレセプタクルアセンブリに嵌め合わせるときに、回転要素が、プランジャーによって外部ランプに向かって押圧される、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

【請求項 3】

電気コネクタをレセプタクルアセンブリから取り外すときに、回転要素が、スプリングによって内部ランプに向かって押圧される、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

【請求項 4】

プランジャーを回転要素に向かって押圧することを禁止するために、電気コネクタをレセプタクルアセンブリに嵌め合わせる際に、回転要素の表面に配置された駆動突起に接触する停止面が内部ランプの中に配置され、その結果、所定の嵌合サイクル数の後に、電気コネクタをレセプタクルアセンブルに嵌め合わせることが禁止される、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

【請求項 5】

電気コネクタが行った嵌合サイクル数を表示する視覚的表示器を電気コネクタにおいて更に有する、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

【請求項 6】

嵌合サイクルの間に回転要素が電気コネクタの内部で回転するのを妨げるために、回転要素と係合するツールに対するアクセスを提供するように構成された穴をコネクタにおいて更に有する、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

【請求項 7】

張力緩和デバイスを更に有する、請求項 1 に記載の電気コネクタ。